フジサンケイグループ　エフシージー総合研究所主催

講師は全員、現役の広報担当者・報道関係者!!

広報活動に必須の知識とテクニックをすべて教えます

第29回 新任広報パーソン夏期講座

29年の実績が導く、広報の未来を切り拓く4週間！

広報の基本知識から社内広報、危機管理、マスコミへの情報発信やアプローチ方法など広報のA to Zを現役企業広報担当者や産経新聞の記者・編集責任者がレクチャーします。少人数制だからこそ実現する濃密な学びと、最終回の懇親会での貴重な人脈形成。広報の第一歩を踏み出すあなたへ、そして広報業務を深化させたいあなたへ。今すぐ、未来を拓く学びの扉を開きましょう。

開設期間 7/4(金) ▶ 7/25(金)　全4回　毎週金曜日 14:00～17:00（第4回を除く）

概　略

受講料（最終日の懇親会費含む）

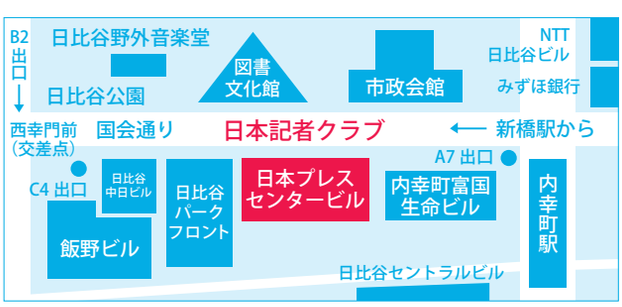
100,000円（一般／税込110,000円）　80,000円（フォーラム会員／税込88,000円）

講座数 全4回　8講座

定員 25名　お申し込みはお早めに!!

会場 日本記者クラブ　大会議室

東京都千代田区内幸町2-2-1日本プレスセンタービル9階　TEL:03-3503-2721



《会場・アクセスのご案内》

地下鉄
- 千代田線・日比谷線「霞ヶ関」駅　C4出口 …… 徒歩約2分
- 丸の内線「霞ヶ関」駅　B2出口 …… 徒歩約5分
- 都営三田線「内幸町」駅　A6・A7出口 …… 徒歩約2分
- 銀座線「虎ノ門」駅 9・10番出口 …… 徒歩約7分

JR
- 新橋駅から …… 徒歩約10分

申込方法 お申し込みは右記QRコードよりお願い致します

受付後、担当者から確認のご連絡をし、請求書をお送り致します。

講座プログラムは裏面をご確認ください。

【お問い合わせ先】　(株)エフシージー総合研究所　東京都江東区青海1-1-20　TEL:03-6891-8501　E-Mail:koho@fcg-r.co.jp　担当：大島

フジサンケイグループ　エフシージー総合研究所主催

第29回 新任広報パーソン夏期講座

プログラム

【第1回】7月4日（金）　14:00～17:00　日本記者クラブ大会議室

■ 講習のテーマ「広報パーソンに求められる基本知識とスキル」（適宜休憩を取ります）

14:00～15:30	**「広報業務の基本的な考え方と同社の取り組み」　－広報担当者が理解すべき事柄―** アサヒグループホールディングス（株）　コーポレート・コミュニケーション部門長　根本ささ奈氏
15:30～17:00	**「新聞社の取材体制と新聞記者から見た良い広報パーソンとは」** 産経新聞編集局経済部長が記者の活動と頼りにされる広報パーソンを紹介

【第2回】7月11日（金）　14:00～17:00　日本記者クラブ大会議室

■ 講習のテーマ「社内報づくりのポイント」と「ニュースリリースの作り方実践講座」

14:00～15:30	**「社内広報の重要性と“伝わる”ツールの作り方」　－社内報・社内広報の極意とは－** 大日本印刷（株）社内コミュニケーション室担当者が読まれる社内報の工夫を解説
15:30～17:00	**「記者の目に止まるリリースと文章のお作法」　－ニュースリリース作成実践講座－** 産経新聞論説副委員長が読まれるリリースと文章の書き方をアドバイス

【第3回】7月18日（金）　14:00～17:00　日本記者クラブ大会議室

■ 講習のテーマ「SNSでの炎上防止策」と「デジタル社会で求められる常識」

14:00～15:30	**「企業の炎上事例と防止のための対策」　－広報担当が把握すべきネット民の反応－** ウェブ編集フリーエディターが炎上の傾向と対策を解説
15:30～17:00	**「生成AIの活用と守るべきルール」　－広報担当に必要なコンプライアンス意識－** （株）産経デジタル社長が著作権やステマの落とし穴を解説

【第4回】7月25日（金）　15:00～20:00　日本記者クラブ大会議室・小会議室

■ 講習のテーマ「平時と緊急時の広報活動」

15:00～16:30	**「平時と緊急時の広報活動」　－緊急時に慌てないために－** 日本マクドナルド（株）　広報部長　眞野昌子氏
16:30～18:00	**「緊急時のマスコミ対応」　－炎上させない広報対応のポイント－** 産経新聞編集局産経ニュース統括編集長が不祥事でのマスコミ対応を解説
18:00～20:00	**「講座修了懇親会」　－講師・参加者同士の情報交換親睦会**

主な講師のプロフィール（順不同）

小川 真由美（おがわ まゆみ） 氏（産経新聞 東京本社編集局 経済部長）

青山学院大学卒。産経新聞社入社後、社会部、文化部、経済部、政治部を経て2023年11月1日付で現職。経済部では飲料や日銀、財務省などを取材。政治部では外務省、官邸、与党の各キャップを担当。

酒井 孝太郎（さかい こうたろう） 氏（産経新聞 東京本社編集局 産経ニュース統括編集長）

1994年産経新聞入社。多摩支局、静岡支局、警視庁捜査二課・四課担当、社会部遊軍などを経て2009 年警視庁キャップ、11年司法記者クラブキャップ、15年社会部次長、19年文化部長。21年社会部長。24年5月から現職。

長谷川 秀行（はせがわ ひでゆき） 氏（産経新聞 論説委員室 論説副委員長）

1989年産経新聞社入社。千葉総局から経済部。電機業界、旧大蔵省、日銀などを担当したあと、政治部で小泉政権の政局などを取材。「SANKEI EXPRESS」副編集長、産経新聞経済本部次長、12年5月編集局経済部長。15年7月から現職。

土井 達士（どい たつし） 氏（産経デジタル 代表取締役社長）

早大卒。1990年産経新聞社入社。経済部、オックスフォード大留学、社会部、ワシントン支局などを経てデジタル事業を分社化した産経デジタルへ出向。産経新聞社関連のニュースサイト・オンライン事業に携わってきたほか、近年は米ゲーム情報サイト大手「IGN」日本版展開やeスポーツコンサルタント事業など多角化を推進。22年から現職。